

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【長崎県】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	深江中学校 教職員及び生徒 227名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 道徳 )</p> <p>② 行事名 ( アスリート講演会・交流会 )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 チャレンジしよう
5 取組内容	<p>1月16日(火) 2年生道徳 オリンピック、パラリンピックについて</p> <p>1月16日(火) 全学年 アスリート講演会・交流会 交流会では、車いすバスケットを体験した。</p> 
6 主な成果	長崎県のオリンピックのパネル展示により、関心を持つ生徒が増えた。

	<p>2020年に東京で、オリンピックが開催されることを生徒は知っているが、パラリンピックに対しては、興味がわかない生徒が多い。</p> <p>今回の事業で、パラリンピアンの方の西村さんの講演を聴き、体験活動をしたことで、パラリンピックに対しての興味や関心を持つことができた。</p> <p>また、障がいのある方に対する接し方等も学ぶことができた。</p> <p>体験学習では、実際に車いすバスケットをすることで、興味を持つことができた。</p> <p>車いすバスケットだけでなく、パラリンピックの他の競技にも関心を持つようになった。</p> <p>挫折を味わった方が、気持ちを切り替え、強い気持ちを持って障害者スポーツにチャレンジされた。「チャレンジの気持ちを持つことの大切さや素晴らしさ」を学ぶことができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>なるべく多くの生徒が体験できるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>全校への事前の取組が不足していた。</p> <p>中学校では、3学期になると、3年生が受験をひかえているので、いろいろな行事を入れることができない。なるべく2学期までに行事を行いたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピック・パラリンピックについて、種目や選手等をもっと知る。</p> <p>共生社会について、学習したい。</p>